

判形有神

〔船木系圖〕土岐二郎兵衛尉賴口者賴尙之次男、正尙舍弟也、先年賴尙暫在濃州土岐庄產此男、故少名號土岐孫二郎。

〔堯孝法印日記〕文安三丙寅年正月一日古今集披覽序春部上於神前天神社讀之勤行及數刻終夜不一睡。

美乃國真桑庄爲本領舊冬令還補仍一昨日御下知御施行等拜領之時細川右馬助入道家へ申侍し。

あふぐ哉みのゝを山のまつかひも有ける御代の道のめぐみを
尤日沙彌素欣もとにするにまかりて三十六首うた讀はべりしに○略中

戀地儀

たのみこしいなばの山のかひ有て今かへりくる契をぞしる

今度還補真桑庄稻葉山程近し仍爲逸興如此詠之但彼行平中納言の古歌はいなばの國のい
なば山也同名たる計におもひよせ侍る不可有混亂事也。

〔吾妻鏡三十六〕寛元三年五月七日庚子就懸物年紀被付美濃國芥見庄於山田鄉○下

〔藤河の記〕十六日竹の内の僧正のあくたみの庄を一見すべきよし亥めすよて江口より舟にの
りて二里ばかり川づたひにさかのばる因幡山のふもとをすぐる路なり

〔康正二年造内裏段錢并國役引付〕合○中略

貳貫文屋代源藏人殿○濃州芥見

壹貫文鞠井殿段錢○節略

〔集古文書注文〕四美濃國小島庄御年貢算用狀事

合文正元年分